

“仲間”

「最高の仲間と、最高の舞台上で、最高の相手と戦うことができた」とは、ロンドン・オリンピックの時の、なでしこジャパン、澤穂希選手の言葉です。ラグビーW杯での日本代表チームにおいても、選手達は同じようなことを言っています。この言葉からは、『仲間』の尊さを感じることができます。

真の『仲間』とはプラスの力を与え合うもの、一人では成し得ないことを可能にする力を与え合うものだと思います。そして、困ったり、苦しんだりしている時には、それを理解し守ってくれる存在です。自らがそうした人になる努力を続けることによって、真の『仲間』は自分の周りに着実に増えていくと思います。そして、真の『仲間』が、最高の『仲間』となるわけです。

人気アニメの『ONE PIECE』。好きな人もたくさんいると思います。このアニメの重要なキーワードのひとつになっているのも、『仲間』です。

主人公のルフィは、どんなことがあっても『仲間』を見捨てず、何があっても信頼し、どんな強大な敵に対しても『仲間』を守るために全力で立ち向かっていきます。

社会学者の安田 雪という人が、『ルフィの仲間力』という著書の中で、『ONE PIECE』のルフィをモデルに、仲間から信頼される人になるための条件として、次の4つをあげています。

- 1、相手の姿・形に偏見を持たない。(相手を表面や外見で判断しないことです)
- 2、自分の弱さを隠さない。(自分の弱さを見せることには、大きな勇気を要します。それによって相手につけ込まれて窮地に立たされることもあるし、そんなことはプライドが許さないという人もいます。しかし、「自分の弱さを認める強さ」を持っていれば、それによって仲間たちは「自分が助けなければ」という思いを強くするのです。)
- 3、自らの旗を掲げる。(人が掲げた旗に乗っかるだけではなく、時には自分から旗を掲げることも大切であるということ。これは、自分のやりたいことや目標がはっきりしたら、それを口に出して他者に伝えてみることを指します。自分の意見や考えを人に伝えることができなければ、人は寄って来ません。)
- 4、仲間のSOSには絶対に応える。(厄介なことには関わり合いたくなくでしょうし、面倒くさく感じることもあるでしょう。しかしだからこそ、仲間が心から助けを求めている時に、絶対にそれに応えようとする人は、仲間からの信頼を勝ち取ることができるのです。)

「人は人の生き方に出会い、感動し、自分の生き方を思う。感動は想像力となり、生きる力となる。生きる力はまた別の一人を感動させ、その連鎖が続いていく」

人生は出会いの連続です。人は多くの人と出会って、つながりをつくって豊かな人生を送ろうとしていく。百人いれば百の考えがあります。百の感じ方があります。百の個性があります。それぞれ違うものを持っているもの同士が、力を合わせて一つのものを作り上げるという素晴らしい体験こそ、『仲間』を強く意識できる最高の場面なのかもしれません。

澤選手やラグビー日本代表のように、「最高の仲間」と言える『仲間』。『ONE PIECE』のルフィの仲間たちのように、信頼し合い、全力で互いを守っていける『仲間』。

部活動での経験、「榎祭」の達成体験など…学級、学年、学校に、そんな『仲間』がいたなら本当に素敵で、素晴らしいことだと思います。

これからの取り組みについて

1 目的意識の明確化

再度、「何のための進学なのか」、「高校等で何をやるのか」という、目的意識についてしっかりと考え、自分の言葉や文字で明確に表現できるようにする。

2 より実践的な学習への取組み

(1) 学校では…

- ① 1時間1時間の授業を大切にすること。
- ② 疑問点は教師に質問し解決すること。
- ③ テストの受け方を再確認し実行すること。(入試の鉄則『解ける問題から解く』、つまらないミスがないかどうかを見直す習慣、採点者を考えたていねいな文字や数字など)

(2) 家庭では…

- ① 学習量を増やす。必然的に学習時間が増えていかなければならない。
- ② 「書くこと」を重視する。(書いて覚える。文章で説明したり表現したりすること、など)
- ③ 1冊の問題集を繰り返し解く。(答えを覚えるくらいに)
- ④ 過去の定期テストや実力テストを再度解く。
- ⑤ 過去の入試問題を必ず解く。(本番を意識して正確に時間を計って、どのくらいのペースで問題を解かなければならないかを知る。問題の傾向をつかむ。)

3 面接はその“人となり”や“心の姿勢”をみるため

面接は、答えの内容はもちろんだが、その“人となり”(人柄)や“心の姿勢”(目的意識や積極性など)をみるために実施される。さらに、はきはきとした応答の仕方ができれば評価も高くなる。そして、挨拶等の礼儀作法、身だしなみ(髪型や服装)等は普段からしっかりしておくことが大切である。

4 学力を下から支えるものの重要性

生活のリズム、食事、睡眠、健康管理、携帯・スマホの使用、さらには、あいさつ、時間を守るなどの基本的な生活習慣、そして、善悪のしっかりした判断に基づく行動など、学力を下から支える様々なもの(環境)もよりよいものにしていきたい。

5 入試情報を正確にキャッチして、提出期限等を厳守する

今年度から県立高校の新しい入試制度になったり、日大東北高校が各自のウェブ出願になったりなど、大きな変化があります。学校から出される入試情報を聞き漏らすことなく正確にキャッチするとともに、様々な提出物の提出期限を守ることを。

◎ 受験は『団体戦』～学年・学級の学習に立ち向かう体制(雰囲気)づくり

休み時間等も教室で学習している人たちはいますか？

互いに教え合ったり、先生に質問したりする、そんな場面をもっともっと多くしていくことが大切です。「わからなかったら聞く」～学習の鉄則です。そんな学び合う姿(互いの進路実現を互いに支え合う姿)を学級、学年の随所で見ることができれば、これから来るであろう困難に打ち勝つことができると思います。そんな学級・学年をつくってください。

受験は個人の戦いではありますが、ある意味で『団体戦』とも言えます。富中3学年、そして7つの学級がまさに“**One Team**”となり受験に向かうのです。